

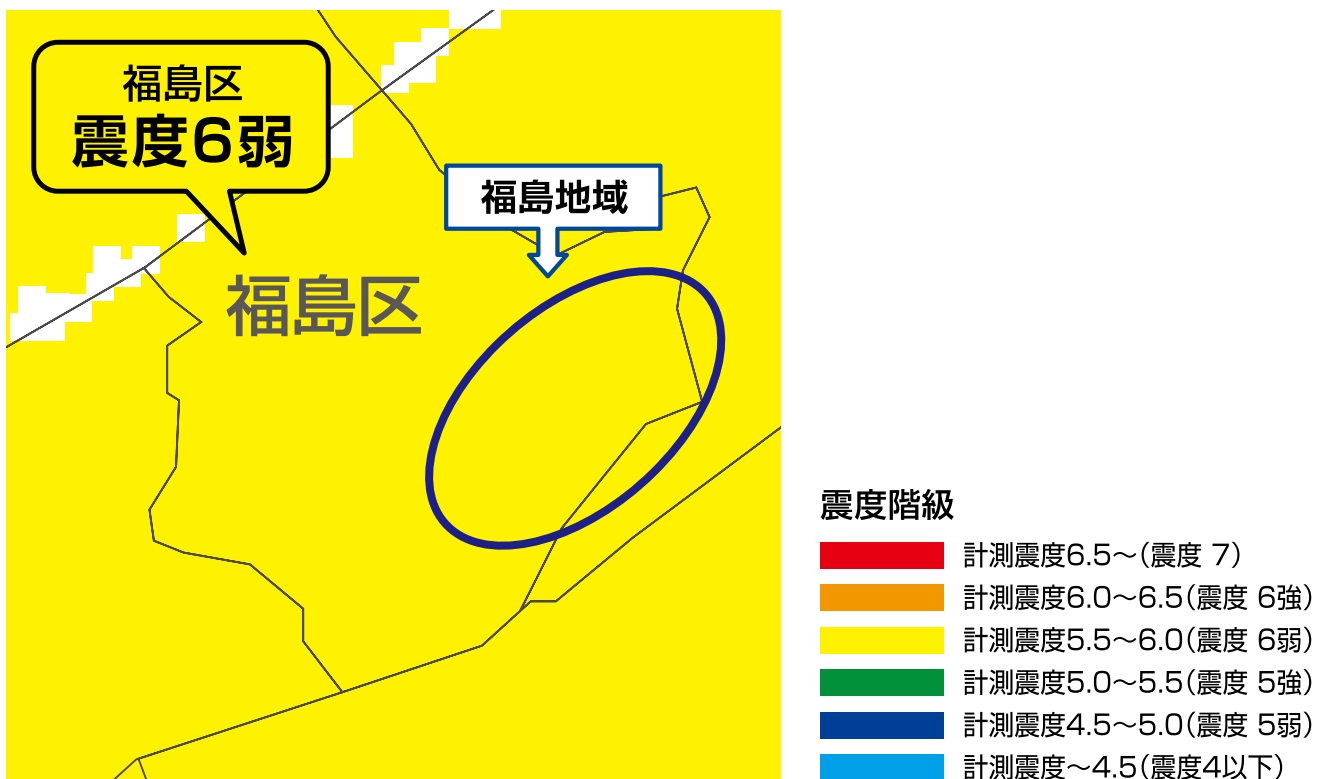
2. 福島地域の特性と予想される災害

(1) 地域の特性

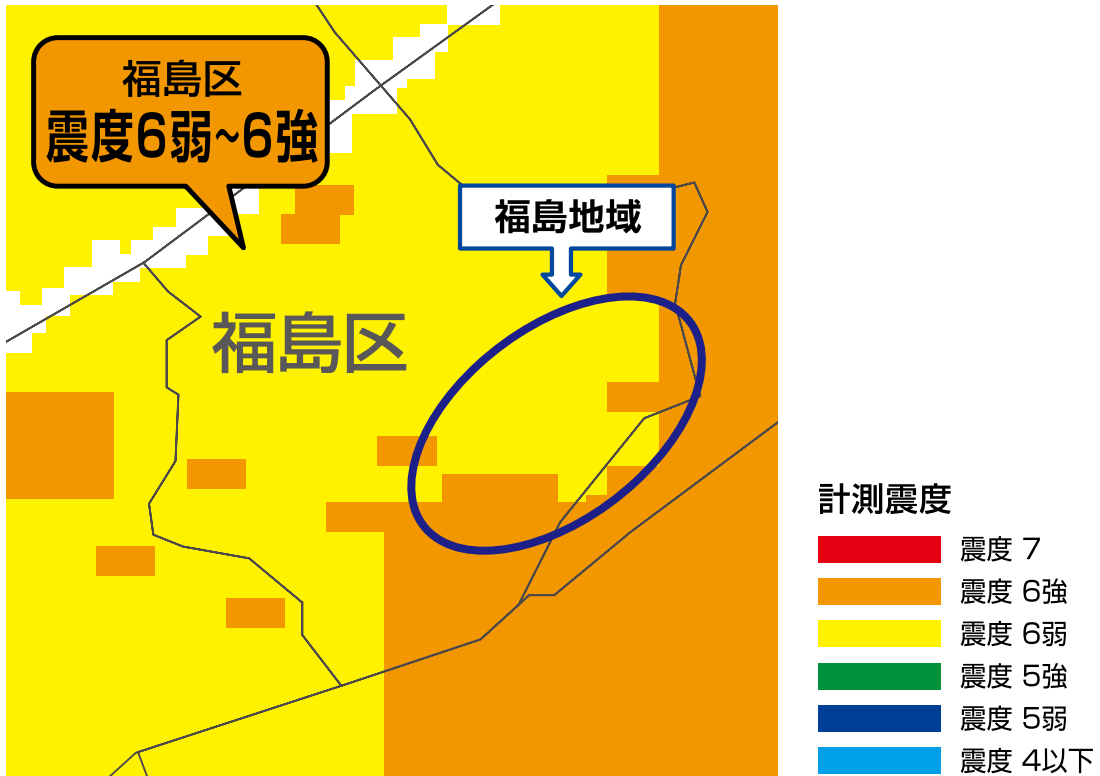
JR大阪環状線「福島」駅南側に位置し堂島川に面した地域で堂島川沿いにはABC朝日放送局、「にぎわい」の機能として商業施設、「居住」の機能として超高層マンション等からなる“ほたるまち”があります。また、地域内には大規模な医療機関や福島消防署出張所、広域避難場所として指定されている下福島公園もあります。

国道2号線やなにわ筋、あみだ池筋といった大きな幹線道路がある一方、幹線道路から離れた一部地域では、古くからの木造住宅が多く、下町の雰囲気も残っています。地域住民の防災（防火を含む）意識が高く、結束力のある地域となっています。また、近年では都心部への接近性・良好な生活利便性から耐震・耐火性に優れた高層住宅なども多数建設され、住宅地化も進んでおり低層建物と中高層建物が混在した地域となっています。

(2) 海溝型地震（南海トラフ巨大地震）



(3) 直下型地震（上町断層での地震）



震度6弱、6強、7とは

電気・ガス・水道などのライフラインはストップすることも予想されます。

震度6弱

- 立っていることが困難になる
- 未固定の重い家具の多くが移動、転倒する
- かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損

震度6強

- はわないと動くことができない
- 未固定の家具のほとんどが移動し、転倒する
- 壁のタイルや窓ガラスが破損

震度7

- 揺れに翻弄され、飛ばされることもある
- 未固定の家具は飛ぶこともある
- 補強済みのブロック塀も破損するものがある